

災害委員会 2014 年度市民企画講座・支部企画活動報告
シンポジウム：釧路防災ワンデー「釧路防災講演会 2015」～厳冬期の避難を考える～
北海道支部都市防災委員会

1. 目的

2011 年の東日本大震災から約 4 年が経過し、徐々に震災の記憶が薄れている一方で、風化させないための努力や、次の災害に向けた防災活動が実施されている。北海道における防災を考える上で、最も問題とされているのが、冬期の気象条件によってもたらされる生活環境の変化である。室内の暖房や道路の除雪など夏期とは違った生活環境となり、気温の低い地域や雪の多い地域などでは、地域固有の防災対策を考える必要がある。特に厳冬期の避難を考える場合にはこのような環境の変化に即したものでなければならず、そのための対策準備をしなければならない。このシンポジウムでは、地域住民、自治体職員、防災関係者に厳冬期被災についての理解を深めてもらうと共に、災害から身を守るために何が必要で、何をしなければならないかを考えた。

2. 実施日時・会場

日 時：2014/1/11（日）13:00-15:00

場 所：釧路市アクア・ベール

参加者：約 200 名

3. 内容

①基調講演「冬期の防災まちづくりを考える」

竹谷修一氏（国土交通省国土技術政策総合研究所都市防災研究室長）より、暴風雪が引き起こす災害例について紹介があった。釧路市のある北海道道東地域は年間の積雪量は多くないが、局地的、瞬間的な豪雪は多数記録されており、注意が必要であること、また、高齢化や人口減少が著しい地域で災害が深刻化することが説明され、さらに、被害を軽減させる試みの一つとして、高齢化や人口減少が著しい地域での除雪ボランティアの取り組みの紹介がされた。

②シンポジウムパネリスト

土岐政人氏（釧路市連合防災推進協議会会長）より、釧路市の町内会の防災対策、防災訓練の現状と問題点について説明がなされた。高齢化が進展していることによって、避難に支障をきたす方が多数いること、また、その状況を把握する試みをしてはいるものの十分ではないことが紹介された。

根本昌宏氏（日本赤十字北海道看護大学看護薬理学領域）より、日本赤十字北海道看護大学で実施している厳冬期防災訓練が紹介された。北見市にある当大学では、厳冬期（-20℃を下回る）に停電を想定した避難訓練が学内の有志（サークル活動）として実施されており、ヒーターはポータブルジェットヒーターを自動車用バッテリーに接続した物、また、体育館の中に、バレーボールネットと温室用断熱シート（どちらも手に入りやすいもの）を使った空間を作り、その中で一晩を過ごす防災訓練を実施している。空間の外側は 0℃程度であるが、空間内は 10℃程度まで暖めることができることが紹介された。

工藤映美氏（釧路大楽毛よしの幼稚園教諭）より、大楽毛よしの幼稚園で実施している避難訓練の様子を幼稚園児の実演とともに紹介していただいた。当幼稚園では、一週間に一度程度、抜き打ちで生徒を釧路高専（津波避難ビル、幼稚園から約 200m）まで避難させる訓練を実施している。東日本大震災の被害状況に危惧を抱いての実施であったが、数年実施した結果、単に子供たちの避難安全性が高まっただけでなく、体力の向上、小さい子供たちへのいたわりの心の醸成、家庭での防災に関する会話の増加等の副次的な効果があったことが紹介された。

西野和志氏（NHK 釧路放送局局長）より、暴風雪や災害時の報道に関する NHK の取り組みについて紹介していただいた。

それぞれの事例紹介の後、会場からの質問を含めてパネリスト間で意見交換がされた。意見交換された内容は、「情報をどのように避難に活かすか」、「冬期の避難における問題点」、「心構えと準備」である。それぞれ、次のような議論が展開された。

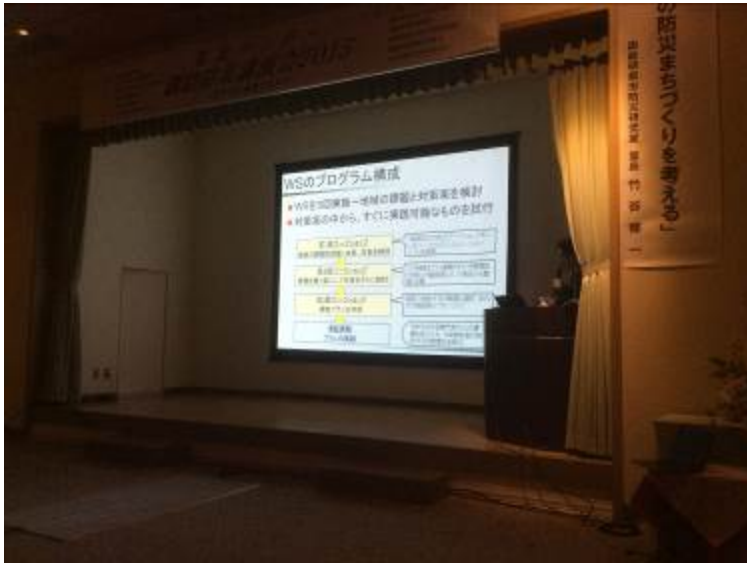
「情報をどのように避難に活かすか」：東日本大震災時の教訓として、停電でテレビを見ることができなかった。その場合、ラジオが重要な情報源で地域におけるラジオ放送の再構築等、一つの情報を同時に多数のメディアに出すことができる体制を構築する必要がある。また、地域での周知も必要である。

「冬期の避難における問題点」：避難経路の移動困難（特に高齢者）、避難所が寒い、高齢者の問題等について議論された。また、冬期の避難訓練は実施することが難しいが、実施すると新たな課題が見えてくるはずという提案がなされた。

「心構えと準備」：厳冬期の避難は時間がかかること、行った先が寒いこと等、通常の避難と異なるため、これらに関する準備（例えば、時間がかかることを想定したり、濡れない工夫等）が必要である。また、障害者の避難にも目を配ってほしいとの提案がなされた。



NHK 釧路放送局による暴風雪被害防止のパネル展示



竹谷修一氏の基調講演



大楽毛よしの幼稚園園児による防災訓練のようす